

# Linux

## VMware(VM)利用時に、mountすると「wrong fs type, bad option, bad superblock on...」が表示される

HDDイメージが壊れている可能性も否めないが、VMware(を含む仮想基盤)では、Diskイメージをコピーして検証/調査したり、Masterイメージを作成してOSを構築を容易にする事も多い。

他のHDDイメージをmountすると「wrong fs type, bad option, bad superblock on...」と出て、ヒヤッとするが、まずは、/var/log/messages を見て欲しい。

```
Filesystem has duplicate UUID 12345678-1234-1234-1234-123456789012 - can't mount
```

と表示されていないだろうか

HDDイメージを流用すると、一意であるべきUUIDが重複してしまい、mount失敗を起こす。  
仮想基盤ならではの、「あるある」だと思う。  
対象方法は2つ

### 1 . 一時的にマウント

マウント時にUUIDの重複を無視するオプション(-o nouuid)を渡します。

```
# mount -t xfs -o nouuid /dev/sdb1 /mnt
```

### 2 . 永続的に使う場合は、UUIDを変更する

Formatが xfsなら

```
# xfsadmin -U generate /dev/sdb1  
ext4とかは未調査
```

添付ファイル::

一意的なソリューション ID: #1005

製作者: n/a

最終更新: 2026-05-05 06:45